

各 位

会 社 名 総合商研株式会社
代表者名 代表取締役会長 加藤 優
(JASDAQ・コード 7850)
問合せ先 企画管理本部部長 太田 健一
電話番号 011-780-5677 (代表)

(訂正)「平成 26 年 7 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 9 月 10 日に発表した標記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。訂正箇所には下線を付して表示しております。なお、数値データについては、訂正はありません。

記

1. 訂正の理由

平成 26 年 7 月期連結会計年度末より、セグメント情報において従来「商業印刷事業」に含まれていた「ふりっば一事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更すべきであったこと、及び報告セグメントの内訳について集計誤りが判明したため、訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

○添付資料 2 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析
(1) 経営成績に関する分析

(訂正前)

1. 経営成績・財政状態に関する分析
(1) 経営成績に関する分析
(省略)

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業におきましては、東北エリアの受注が拡大したこと、インスタプロモーション関連の受注が伸びたこと等により、当事業の売上高は 10,397 百万円 (前年同期比 52 百万円増) となりました。

利益につきましては、採算管理を強化したことから、営業損失は 93 百万円 (前年同期の営業損失は 180 百万円) となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業におきましては、パック年賀状の取扱件数は 497 万パックと前年同期比 1 万パックの増加となりました。名入れ年賀状の取扱件数につきましても、135 万件から 141 万件と増加したことから、当事業の売上高は 5,080 百万円 (前年同期比 216 百万円増) となりましたが、体制強化に伴う人件費の増加や外注費の増加により、営業利益は 673 百万円 (前年同期比 56

百万円減)と、増収減益となりました。

(その他)

その他におきましては、北海道内の2店舗のプリントハウスにて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行ってまいりましたが、店舗移転によるコスト負担が発生し、売上高は46百万円(前年同期比2百万円増)、営業損失は9百万円(前年同期比10百万円減)となりました。

(訂正後)

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

(省略)

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業におきましては、東北エリアの受注が拡大したこと、インスタプロモーション関連の受注が伸びたこと等により、当事業の売上高は9,740百万円(前年同期比515百万円増)となりました。

利益につきましては、採算管理を強化したことから、営業利益は309百万円(前年同期比215百万円増)となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業におきましては、パック年賀状の取扱件数は497万パックと前年同期比1万パックの増加となりました。名入れ年賀状の取扱件数につきましても、135万件から141万件と増加したことから、当事業の売上高は5,080百万円(前年同期比216百万円増)となりましたが、体制強化に伴う人件費の増加や外注費の増加により、営業利益は480百万円(前年同期比20百万円増)となりました。

(ふりっぱー事業)

ふりっぱー事業におきましては、自社媒体「地域新聞ふりっぱー」へ広告掲載に関わる広告収入は堅調に推移しましたが、チラシ等の一般印刷物の受注が減少したことにより、当事業の売上高は579百万円(前年同期比455百万円減)となりました。営業損失は118百万円(前年同期の営業損失は41百万円)となりました。

(その他)

その他におきましては、北海道内の2店舗のプリントハウスにて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行ってまいりましたが、店舗移転によるコスト負担が発生し、売上高は124百万円(前年同期比3百万円減)、営業損失は24百万円(前年同期の営業損失は24百万円)となりました。

○添付資料5ページ

2. 企業集団の状況

(訂正前)

2. 企業集団の状況

(1) 事業の内容

(省略)

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業におきましては、郵便局、スーパーやドラッグストア等の店頭で販売される名入れ年賀状及びパック年賀状のデザイン制作、印刷を行っております。また、通年業務として挨拶状の制作、印刷も手がけております。年賀状印刷においては、個人情報の保護・管理に万全を期しており、情報の暗号化、静脈・指紋認証システムによる入退室管理等、万全のセキュリティ対策を実施しております。

(訂正後)

2. 企業集団の状況

(1) 事業の内容

(省略)

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業におきましては、郵便局、スーパーやドラッグストア等の店頭で販売される名入れ年賀状及びパック年賀状のデザイン制作、印刷を行っております。また、通年業務として挨拶状の制作、印刷も手がけております。年賀状印刷においては、個人情報の保護・管理に万全を期しており、情報の暗号化、静脈・指紋認証システムによる入退室管理等、万全のセキュリティ対策を実施しております。

(ふりっばー事業)

ふりっばー事業におきましては、フリーペーパー「地域新聞ふりっばー」の発行を通じて、広告収入の獲得や印刷物の受注、ポスティング受託を行っております。

○添付資料 15 ページ

4. 連結財務諸表

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(訂正前)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(省略)

「年賀状印刷事業」はスーパーやドラッグストア等の店頭で販売される名入れ年賀状及びパック年賀状のデザイン制作、印刷を行っております。

(訂正後)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(省略)

「年賀状印刷事業」はスーパーやドラッグストア等の店頭で販売される名入れ年賀状及びパック年賀状のデザイン制作、印刷を行っております。

「ふりっばー事業」はフリーペーパー「地域新聞ふりっばー」の発行を通じて、広告収入の獲得や印刷物の受注、ポスティング受託を行っております。

○添付資料 16 ページ

4. 連結財務諸表

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(訂正前)

前連結会計年度(自 平成 24 年 8 月 1 日 至 平成 25 年 7 月 31 日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2～5)	連結財務諸表 計上額(注6)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,344,835	4,863,934	15,208,769	44,032	15,252,802	—	15,252,802
セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,533	3,175	14,708	2,876	17,584	△17,584	—
計	10,356,369	4,867,109	15,223,478	46,908	15,270,387	△17,584	15,252,802
セグメント利益 又は損失(△)	△180,670	730,018	549,348	949	550,297	△322,871	227,425
セグメント資産	3,007,775	1,564,211	4,571,986	13,873	4,585,859	2,668,855	7,254,715
その他の項目							
減価償却費	221,245	110,114	331,360	1,671	333,031	78,154	411,185
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	144,807	182,003	326,810	431	327,242	77,327	404,570

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントでありプリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△322,871千円には、セグメント間取引消去4,918千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△327,790千円が含まれております。

3 セグメント資産の調整額2,668,855千円は、主に親会社での現金及び預金、本社等の土地及び建物等の固定資産、投資有価証券等であります。

4 減価償却費の調整額78,154千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。

5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額77,327千円は、本社等の設備投資額であります。

6 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成25年8月1日 至 平成26年7月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2～5)	連結財務諸表 計上額(注6)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	<u>10,397,694</u>	5,080,875	<u>15,478,570</u>	<u>46,840</u>	15,525,410	—	15,525,410
セグメント間の 内部売上高又は振替高	<u>10,422</u>	3,209	<u>13,632</u>	<u>3,149</u>	<u>16,781</u>	<u>△16,781</u>	—
計	<u>10,408,117</u>	5,084,085	<u>15,492,202</u>	<u>49,989</u>	<u>15,542,192</u>	<u>△16,781</u>	15,525,410
セグメント利益 又は損失(△)	<u>△93,231</u>	<u>673,317</u>	<u>580,086</u>	<u>△9,060</u>	<u>571,025</u>	<u>△316,192</u>	254,833
セグメント資産	<u>3,348,122</u>	<u>1,536,644</u>	<u>4,884,767</u>	<u>10,325</u>	<u>4,895,092</u>	<u>2,767,344</u>	7,662,437
その他の項目							
減価償却費	<u>255,678</u>	<u>91,938</u>	<u>347,616</u>	1,542	<u>349,159</u>	<u>22,033</u>	371,192
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	<u>280,326</u>	<u>121,047</u>	<u>401,374</u>	1,702	<u>403,077</u>	<u>54,623</u>	457,700

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントでありプリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△316,192千円には、セグメント間取引消去11,985千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△328,177千円が含まれております。

3 セグメント資産の調整額2,767,344千円は、主に親会社での現金及び預金、本社等の土地及び建物等の固定資産、投資有価証券等であります。

4 減価償却費の調整額22,033千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。

5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額54,623千円は、本社等の設備投資額であります。

6 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

前連結会計年度(自 平成 24 年 8 月 1 日 至 平成 25 年 7 月 31 日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2～5)	連結財務諸 表計上額(注 6)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	ふりっぱー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,224,994	4,863,934	1,035,082	15,124,010	128,791	15,252,802	—	15,252,802
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	69,678	3,175	32,278	105,131	2,751	107,882	△107,882	—
計	9,294,672	4,867,109	1,067,360	15,229,142	131,542	15,360,685	△107,882	15,252,802
セグメント利益 又は損失(△)	93,615	460,150	△41,054	512,711	△24,048	488,663	△261,237	227,425
セグメント資産	2,531,434	1,943,429	74,934	4,549,797	13,688	4,563,486	2,691,228	7,254,715
その他の項目								
減価償却費	187,069	187,380	2,567	377,018	1,776	378,794	32,390	411,185
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	108,036	510,371	—	618,407	431	618,839	△214,269	404,570

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントでありプリントハウス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△261,237千円には、セグメント間取引消去4,918千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△266,156千円が含まれております。

3 セグメント資産の調整額2,691,228千円は、主に親会社での現金及び預金、本社等の土地及び建物等の固定資産、投資有価証券等であります。

4 減価償却費の調整額32,390千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。

5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△214,269千円は、本社等の設備投資額であります。

6 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成25年 8 月 1 日 至 平成26年 7 月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2～5)	連結財務諸 表計上額(注 6)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	ふりっば一 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,740,207	5,080,875	579,391	15,400,474	124,936	15,525,410	—	15,525,410
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	60,663	3,209	37,371	101,244	3,090	104,335	△104,335	—
計	9,800,870	5,084,085	616,762	15,501,718	128,026	15,629,745	△104,335	15,525,410
セグメント利益 又は損失(△)	309,049	480,709	△118,035	671,723	△24,097	647,625	△392,792	254,833
セグメント資産	2,792,590	1,883,748	82,546	4,758,884	10,202	4,769,087	2,893,349	7,662,437
その他の項目								
減価償却費	171,524	157,782	2,222	331,529	1,542	333,071	38,120	371,192
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	266,001	124,307	3,713	394,022	1,702	395,725	61,975	457,700

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントでありプリントハウス事業等を含んでおります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△392,792千円には、セグメント間取引消去11,985千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△404,777千円が含まれております。
 3 セグメント資産の調整額2,893,349千円は、主に親会社での現金及び預金、本社等の土地及び建物等の固定資産、投資有価証券等であります。
 4 減価償却費の調整額38,120千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
 5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額61,975千円は、本社等の設備投資額であります。
 6 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、従来「商業印刷事業」に含まれていた「ふりっば一事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については変更後の区別方法により作成しており、「3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」の前連結会計年度に記載しております。

以上